

こんにちは。雨の日や蒸し暑い日が続いていますね。なかなか過ごしにくい毎日ですが今日ご紹介する本はページを開けば私たちを楽しい気分にしてくれる本です。

『漂流物』

デイヴィット・ウィーズナー BL出版 1890円 絵本

<お勧め年齢>

幼稚園☆☆☆ 小低学年★★★★ 小中学年★★★★ 小高学年★★★★ 中学生★★★★
高校★★★★ 一般★★★★

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

この本は字のない絵本です。ある男の子が浜辺でカメラをひろいました。男の子がカメラの中に入っていたフィルムを現像してみると、そこには思いもよらない海の中の出来事が写っていました。また、写真をみていくうちに、このカメラをひろったのがこの男の子だけではないことがわかります。何人もの子どもがこのカメラを海でひろい、あることをしてから海に返しているのです。この男の子もまた今までの子たちと同じようにあることをしてからこのカメラを海に投げ入れました。するとイカがそのカメラをひろって、また海の中の出来事が写され、そして今度はある女の子がこのカメラをひろうのです。

<子どもに手渡すときのポイント>

字のない絵本ですので、どの年齢の子どもでも楽しめます。文字はないのですが、絵だけですばらしい物語を語ってくれる本です。一度手に取ると新しい世界が開けること間違いなしです。子どもにはとにかく手渡せば後はこの本の絵が語る物語の力が子どもたちを離さないでしょう。2007年コールデコット賞受賞作品です。

コールデコット賞とは？

年に一度アメリカで出版された絵本の中でもっともすぐれた作品を描いた画家に対して贈られる賞です。1937年にアメリカ図書館協会によって創設され、翌年から授賞が行われています。賞の名前は19世紀イギリスの絵本画家、ランドルフ・J・コールデコットにちなんでいます。



『さがそう！ちがう虫』（海野和男のさがしてムシハカセ1）

海野和男著 偕成社 1470円 昆虫

<お勧め年齢>

幼稚園☆☆☆ 小低学年★★☆ 小中学年★★★ 小高学年★★★ 中学生★☆☆

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

（★が多い年齢の子どもにお勧めです。）

<本の紹介>

みなさんは「昆虫と昆虫でない生き物のちがい」が言えるかな？また「チョウとガのどこがちがうか」「どんな虫がクワガタ虫なのか」もわかりますか？この本は似たような昆虫の中からある昆虫を探すクイズをしながら、昆虫の特徴がわかる本です。クイズをするだけでも楽しいし、その後の解説を読むとなるほどなあと世界が広がります。この本が気に入った人はシリーズの『さがそう！かくれる虫』『さがそう！まねする虫』も読んでみてね！

<子どもに手渡すときのポイント>

解説まで自分で細かく理解するには3年生くらいからがいいと思いますが、一緒にクイズをやって大人が解説をわかりやすく説明してあげれば1年生からでも楽しめる本です。大人でもなるほど！と思うことが書いてありますので、親子で一緒にクイズに挑戦してみたいはいかがでしょうか？



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。

早良図書館 吉岡 さやか